

令和7年度入学 総合型選抜 第2次選考  
口頭試問（数学） 講評

問1

【出題のねらい】

三角形に関する基礎的な定理（正弦定理と余弦定理）について、正確な理解を問うた。

【講評】

大学入学共通テスト（数学）を受験する場合には正確に理解しておかなければならない定理に対する出題であったため、多くの受験者が正しい理解を示していた（大学入学共通テストの受験に限らず）。高等学校での数学では、他にも多くの基礎的な定理がある。引き続き、網羅的に、確実な理解を身に付けるよう期待したい。

問2

【出題のねらい】

定量的な条件が与えられた状況で頻出する基本的な主張に対して、適切な判断ができるかを問うた。

【講評】

数学Iの「集合」「命題」で導入される図（ベン図）などを利用して解答できるが、必ずしも数学Iの知識や技術は必要ない出題であった。問1に比較して正答率はやや低かった。問われていることは極めて基本的な主張であり、説明を伴って「確実に正しい」または、反例などを想起して「必ずしも正しくない」と自信をもって判断できるよう、日々の学習での着実な理解の積み重ねを求めたい。